

福岡市総合図書館

映像ホール

FUKUOKA CITY
PUBLIC LIBRARY
MOVIE HALL

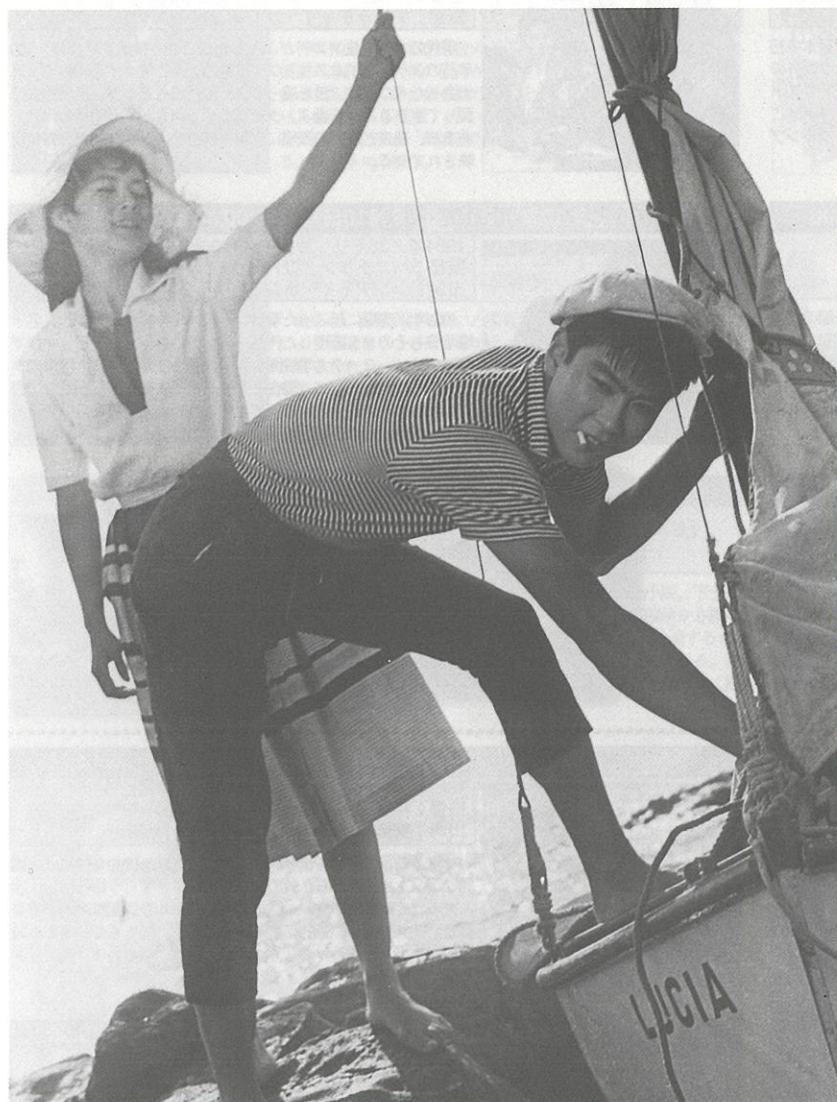
シネラ

NEWS

9

SEPTEMBER

1997 No.14



狂った果実

■特 集■

微笑みの国・タイの巨匠

タイ映画

チュート・ソンスイー監督特集

日本映画の巨匠達

日本映画名作選

韓国映画の巨匠

임권택

林権澤監督特集



■特別企画■

林権澤 福岡アジア文化賞受賞記念

林権澤、小栗康平と語る

特集 | 微笑みの国・タイの巨匠

タイ映画 チュート・ソンスイー監督特集

インドや中国の文化的影響を受けながらも、東南アジア各国の中で独自の作品をコンスタントに作り続けている国タイ。微笑みの国・タイの映画を巨匠チュート・ソンスイー監督を中心に特集。

会 期：9月3日(水)～9月7日(日)
9月10日(水)～9月11日(木)
観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制
※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)



アナザー・ワールド

傷あと

9月3日(水) 14:00 / 9月4日(木) 19:00

1977年/35ミリ カラー/130分 [タイ]
監督：チュート・ソンスイー
出演：ソーラボン・チャトリ

チュート・ソンスイー監督の70年代の代表作であり、日本で初めて公開されたチュート監督の作品。1930年代のバンコク郊外の農村を舞台に展開されるロミオとジュリエットにも似たラブストーリーである。青年クワンを演じたソーラボン・チャトリはこの作品でスターとなる。フランスのナント三大陸映画祭グランプリ受賞。



スパンの血

9月3日(水) 19:00 / 9月4日(木) 14:00

1979年/35ミリ カラー/141分 [タイ]
監督：チュート・ソンスイー
出演：パイロット・サングロリグット

16世紀アユタヤ朝の時代、タイは隣国であるビルマ王国の圧迫を受けていた。男勝りのお転婆娘ドゥアンチャンは偶然知り合った敵の将校を愛してしまう。それが原因で将校は処刑され、ドゥアンチャンは髪をざり、民衆の先頭に立ってビルマ軍に向かっていく。全編を通じ16世紀タイを舞台とした熱い物語が展開される。日本初公開。



やさ男

9月5日(金) 14:00 / 9月6日(土) 11:00

1980年/35ミリ カラー/105分 [タイ]
監督：チュート・ソンスイー
出演：ソムバット・メータニー

チュート・ソンスイー監督は必ずしも大作ばかりを作る監督ではなく、エンターテインメント作品もきちんと作る職人的な監督であることが分かるコメディ映画。主人公はバンコクのプレイボーイであるが、一方本命の美少女が相手の時はからきしダメな小心者である。バンコクの都市生活や、タイでのプレイボーイの基準などが分かる軽快な作品。日本初公開。



ブアンとペーン

9月5日(金) 19:00 / 9月6日(土) 15:00

1983年/35ミリ カラー/129分 [タイ]
監督：チュート・ソンスイー
出演：ソーラボン・チャトリ

1930年代のタイの農村を舞台とした作品。美しい姉妹と姉妹の父親の甥で、身よりのない青年との間の悲恋物語である。青年は一度は姉と結婚するが、妹の途な献身により妹を愛するようになる。純愛と村の掟(不倫は死罪)との間で苦悩する二人の姿が、美しい田園風景や農村の風俗と共に描かれる。チュート・ソンスイー監督の名前を日本で知らしめた最初の作品。



深海の宝石

9月7日(日) 11:00 / 9月10日(水) 14:00

1987年/35ミリ カラー/130分 [タイ]
監督：チュート・ソンスイー
出演：ソーラボン・チャトリ

海で拾ったルビーの所有を巡って展開される男女の三角関係を中心に据えた作品。2枚目スター、ソーラボン・チャトリが二人の女性に恋されるたくまじい海の男を演じている。青い海の描写が素晴らしい。まるで南国のリゾートにいるような気分させる作品である。この作品においてもチュート監督は仏教思想をふまえた、伝統的なタイのモラル観を表現しようとしている。



アナザー・ワールド

9月7日(日) 15:00 / 9月11日(木) 19:00

1990年/35ミリ カラー/136分 [タイ]
監督：チュート・ソンスイー
出演：チャッチャイ・プレーンパーニット

現代の女子大生メニューがふとしたことから鏡をすり抜け、100年前のタイにタイムスリップする物語。そこでタイ王国の王子と出会ったメニューは、鏡を通してまた現代にもどるが、結局過去に戻って生きることを選ぶ。タイでは珍しいSF的な題材の作品であるが、過去と現在の表現に現世・前世という仏教的考え方が反映されている。



ヌアンチャウィー 愛の炎

9月10日(水) 19:00 / 9月11日(木) 14:00

1984年/35ミリ カラー/120分 [タイ]
監督：バンチャン・コーサラワット
出演：シンチャイ・ホンタイ

1959年に実際に起こった看護婦の殺人事件を元にして、人名・場所等もそのまま再現した作品。監督はこの作品がデビュー作であり、ニューヨーク大学映画学科で映画を学んでいる。従来のタイ映画には見られない、現在と過去を交差させる凝った構成で殺人事件の真相に迫っていく。また殺人を犯した医者と愛人である看護婦の心の内面を緻密に表現した問題作である。



特集 | 韓国映画の巨匠

林権澤監督特集

現代韓国映画を代表する巨匠・林権澤監督(イム・グォンテク)監督の70年代から80年代にかけての代表作4本を特集。

会 期：9月24日(水)～26日(金)
10月1日(水)
観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制
※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)



曼陀羅

曼陀羅

9月24日(水) 19:00 / 9月25日(木) 14:00

1981年/35ミリ カラー/105分 [韓国]
監督：林権澤 (イム・グォンテク)
出演：安聖基 (アン・ソンギ)

林権澤監督の名前を世界的なものにした記念碑的な作品。人間的な煩惱を抱えながら仏教の真理を求めてさすらう修行僧と、呑みだくれの破戒僧の交流を描いており、ベルリン国際映画祭審査員特別賞を受賞し国際的に高く評価された。僧たちが旅をする韓国の四季折々の風景が美しく描かれており、後の名作『風の丘を越えて』に通じる作品である。



キルソドム

9月26日(金) 14:00 / 10月1日(水) 19:00

1985年/35ミリ カラー/95分 [韓国]
監督：林権澤 (イム・グォンテク)
出演：金芝美 (キム・ジミ)

主人公の女性・ファヨンは現在、上流階級の生活をしているが、10代頃、故郷のキルソドムで青年トンジンと愛し合い、男の子を産んだ過去があった。ある日ファヨンは思いがけずトンジンと再会し、自分たちの子どもを捜しに行く。南北分断の悲劇を扱った韓国映画は多いが、この作品はあくまでも家族一人一人に焦点をあてており、このジャンルの傑作と評価は高い。



シバジ

9月26日(金) 19:00 / 10月1日(水) 14:00

1986年/35ミリ カラー/95分 [韓国]
監督：林権澤 (イム・グォンテク)
出演：姜受延 (カン・スヨン)

李氏朝鮮時代の末期、跡継ぎの生まれない家のために、正妻の了解を得て主人の子を宿すシバジ(代理母)という制度があった。シバジは自分の産んだ子の顔も見ることができず、屋敷を追い出される。この作品は、若い女性がシバジとならざるをえない不幸を描いており、封建的な制度を疑問視している。若きシバジを熟演する主演の姜受延は、この作品でヴェネチア映画祭主演女優賞を受賞。



族譜

9月24日(水) 14:00 / 9月25日(木) 19:00

1978年/35ミリ カラー/110分 [韓国]
監督：林権澤 (イム・グォンテク)
出演：河明中 (ハ・ミョンジュン)

原作は梶山季之の小説。族譜とは一族の先祖の名前を記録した家系図のことであり、この作品は日帝時代の創氏改名(韓国名を日本名に変える)に抵抗する地主一族の悲劇を描いた作品である。この作品の持筆すべき点は主人公が谷という日本人青年であることで、創氏改名に疑問を持ちながらも地主に創氏改名を強要せざるをえない苦悩が描かれている。



日本映画名作選

ヴェネチア映画祭銀獅子賞を受賞した溝口健二の「雨月物語」やフランスのヌーヴェルヴァグに影響を与えた中平康の「狂った果実」等、日本映画の巨匠たちによる名作映画を上映。

会 期：9月12日(金)～21日(日)
但し 9月16日(火)は休館日
観覧料：500円(大人)
400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制
※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)



雨月物語

王将

9月12日(金) 14:00 / 9月14日(日) 11:00



1948年 / 35ミリ モノクロ / 93分 [大映]
監督：伊藤大輔 出演：阪東妻三郎

将棋界の鬼才・坂田三吉の将棋にかけた半生を描く。戦後、占領軍の方針で時代劇の製作が禁止されたことにより、伊藤大輔監督が北条秀司の舞台劇を自ら脚本化した作品。将棋界の権威であり人格者である関根7段に似ていた坂田三吉の雄姿を、阪東妻三郎が「無法松の一生」に勝るとも劣らぬ好演で見せる人間ドラマの傑作。

静かなる決闘

9月13日(土) 15:00 / 9月17日(水) 19:00



1949年 / 35ミリ モノクロ / 95分 [大映]
監督：黒澤明 出演：三船敏郎

戦争中、野戦病院で働いた医者の藤崎は、患者の手術中のミスにより梅毒をうつされてしまう。帰国後、藤崎は結婚者との結婚をあきらめ、一生病氣と闘いながら自身のまま生きていこうと決意する。当時、特効薬がなく不治とされた病との医者の苦悩の戦いを、名作「赤ひげ」にも通じるヒューマンズムで描いた作品。主演の藤崎医師を三船敏郎が熱演する。

真空地帯

9月13日(土) 11:00 / 9月17日(水) 14:00



1952年 / 35ミリ モノクロ / 129分 [新星映画社]
監督：山本薩夫 出演：木村功

原作は戦後文学の代表作として知られる野間宏の小説。下士官の利権を巡る争いの犠牲になった木谷一等兵が、刑務所から原隊に復帰してくる。木谷は密かに上官に対して復讐を計画するが、結局脱走を図ろうとして失敗し、野戦へ送られることとなる。非人間的な軍隊組織、そして軍隊における腐敗と暴力を赤裸々に描いてゆく問題作。

雨月物語

9月12日(金) 19:00 / 9月15日(月・祝) 15:00



1953年 / 35ミリ モノクロ / 96分 [大映]
監督：溝口健二 出演：田中絹代

上田秋月の古典怪奇小説集「雨月物語」を川口松太郎が翻案し、世界的巨匠・溝口健二が監督した日本映画史に残る名作。出世と金という戦争を巡る男の欲の愚かさ、その犠牲になる女のあわれを、リアリズムを越えた厚みのある表現で描き出している。宮川一夫のカメラが圧倒的に素晴らしい。ヴェネチア映画祭銀獅子賞受賞。

サンダカン八番娼館・望郷

9月14日(日) 15:00 / 9月15日(月・祝) 11:00



1974年 / 35ミリ カラー / 121分
監督：熊井啓 出演：栗原小巻

「からゆきさん」の実体を掘り起こした山崎朋子の感動的なノンフィクションの映画化。女性史研究家三谷圭子は、天草でからゆきさんの生き残りおサキと知り合い、生活を共にして、その過酷な生涯を聞き出していく。おサキを演じる田中絹代の正に入魂の演技が心を打つ。ベルリン国際映画祭最優秀女優賞をはじめ数々の賞を独占した名作。

砂の女

9月18日(木) 19:00 / 9月21日(日) 15:00



1964年 / 35ミリ モノクロ / 147分
監督：勅使河原宏 出演：岸田今日子

原作は安部公房の代表作。さらに音楽の武満徹と監督の勅使河原宏という戦後日本を代表する3人の前衛芸術家による野心的な傑作。海辺の砂丘に昆虫採集に来た男が深い穴の中の家泊めてもらう。家には女が住んでおり、男は帰ろうとしても、蟻地獄のような家のため脱出できなくなってしまう。名女優・岸田今日子唯一の主演作である。

狂った果実

9月18日(木) 14:00 / 9月20日(土) 11:00



1956年 / 35ミリ モノクロ / 86分 [日活]
監督：中平康 出演：石原裕次郎

石原裕次郎の主演第1作で、石原慎太郎が脚本を担当した記念すべき映画。「太陽族」と呼ばれた暇と金をもてあました男たち、その兄弟とひとりの魅惑的な女を巡る物語である。中平康監督による天才的なカットつなぎとスピードが素晴らしい。評論家時代のフランソワ・トリュフォーを熱狂させたことで、フランスのシネマテークに保管される日本映画第1号になった。

夫婦善哉

9月19日(金) 14:00 / 9月21日(日) 11:00



1955年 / 35ミリ モノクロ / 120分 [東宝]
監督：豊田四郎 出演：森繁久彌

織田作之助のベストセラー小説をもとにしたこの映画は、戦後初の人間喜劇として高く評価されている。大阪・船場の跡取り息子・柳吉は芸者の蝶子と恋仲になり駆け落ちしたことで勘当される。ぐうたらな柳吉と好きな男のために懸命に尽くす蝶子の姿が無類のテンポの良さと描かれる。ダメな男だがどこか憎めない柳吉を森繁久彌が見事に演じ出世作となった。

飢餓海峡

9月19日(金) 18:00 / 9月20日(土) 15:00



1965年 / 35ミリ モノクロ / 183分 [東映]
監督：内田吐夢 出演：三国連太郎

戦後日本映画を代表する傑作。16ミリによる黒白の荒れた画面が異様な迫力を生み、人間の極限状態を見事に描き出している。昭和22年、台風による青函連絡船の沈没は多くの死者を出す。強盗3人組がこの事故処理に絡んで本土へ渡る。強盗の1人大飼は他の2人を殺し、名前を変え名士となる。大飼を執念で追いかける老刑事を演じる仲野三郎が素晴らしい。

特別企画：林権澤 福岡アジア文化賞受賞記念



▲林権澤

林権澤、小栗康平と語る「アジアの表現が世界を変える」

林権澤監督の作品には、常に韓国人のアイデンティティーと自然と人間の一体感が表現されている。作品上映と対談を通じて、作品のバックグラウンドにある監督の芸術観に迫る。

会 期：9月27日(土)
13:50～17:00
観覧料：無料(事前申し込みが必要)
映画上映後、対談を行います。

【申込方法】

官製はがきに住所、氏名、年齢、電話番号と「林権澤、小栗康平と語る参加希望」と明記のうえ、下記住所まで申し込んで下さい。先着順に整理券をお送りします。(定員になり次第締め切ります。)

〒810福岡市中央区天神1丁目8-1
福岡市役所
「福岡アジア文化賞委員会事務局」

【問い合わせ先】
福岡アジア文化賞委員会事務局
TEL:092-711-4930

上映作品 風の丘を越えて 一西便制(ソビョンジェ)

1993年 / 35ミリ カラー / 112分 [韓国]
監督：林権澤 (イム・グンテク)
出演：金明坤 (キム・ミンゴン)

公開されるや韓国全土で三百万人を動員、記録的な大ヒットとなった林権澤監督の代表作。パンソリを歌いながら韓国の美しい山々を旅する芸人ユボンと、血のつながらない彼の娘ソンファと息子のドンホの物語。ソンファの歌うこの上なく澄んだパンソリが胸をうつ。この作品をきっかけにして伝統芸能復興の機運がもたらがったという。



対 談 林権澤、
小栗康平(映画監督)

福岡市総合図書館ミニシアター

ブリティッシュ・カウンシル(特別協力)
イギリス映画会 特別上映

天使も許さぬ恋ゆえに Where Angels Fear to Tread

E.M.フォースター(「モーリス」、「眺めのいい部屋」、「ハワース・エンド」等の原作者)が1905年に書いた処女作の映画化。エドワード朝時代のイギリス上流階級の女性とイタリア人青年との激しくもはかない恋を描く。監督のチャールズ・スターリッジはクラシック映画を得意とし、本作品もE.M.フォースターの原作をそのまま美しい映像とともに再現している。

1991年 / カラー 16ミリ / 112分
監督：チャールズ・スターリッジ
キャスト：ヘレン・ボナム・カーター
ジュディ・ディビス
ルパート・グレイブス
ヘレン・ミレン

※日本語字幕なし、当日あらすじを配布します。

日時：9月20日(土)
13時～16時(2回上映) 観覧無料
場所：福岡市総合図書館ミニシアター
(ビデオライブラリー)
問い合わせ：092-752-3750、752-3737
ブリティッシュ・カウンシル福岡オフィス

映像ホール・シネラスケジュール

月	日	曜日	内 容
9	1	月	休 館 日
	2	火	上映はありません
3	水	タイ映画 チュート・ソンスイー監督特集	14:00 傷あと 19:00 スパンの血
4	木		14:00 スパンの血 19:00 傷あと
5	金		14:00 やさ男 19:00 プアンとペーン
6	土		11:00 やさ男 15:00 プアンとペーン
7	日		11:00 深海の宝石 15:00 アナザー・ワールド
8	月		休 館 日
9	火		上映はありません
10	水		14:00 深海の宝石 19:00 ヌアンチャウィー 愛の炎
11	木		14:00 ヌアンチャウィー 愛の炎 19:00 アナザー・ワールド
12	金	日 本	14:00 王 将 19:00 雨月物語
13	土		11:00 真空地帯 15:00 静かなる決闘
14	日		11:00 王 将 15:00 サンダカン八番娼館・望郷
15	祝・月	映 画	11:00 サンダカン八番娼館・望郷 15:00 雨月物語
16	火		休 館 日
17	水	名 作	14:00 真空地帯 19:00 静かなる決闘
18	木		14:00 狂った果実 19:00 砂の女
19	金		14:00 夫婦善哉 18:00 飢餓海峡
20	土		11:00 狂った果実 15:00 飢餓海峡
21	日	選	11:00 夫婦善哉 15:00 砂の女
22	月		休 館 日
23	祝・火		上映はありません
24	水	林権澤監督特集	14:00 族 譜 19:00 曼陀羅
25	木		14:00 曼陀羅 19:00 族 譜
26	金		14:00 キムソドム 19:00 シバジ
27	土		13:50 ~ 17:00 特別企画 林権澤アジア文化賞受賞記念 林権澤、小栗康平と語る「アジアの表現が世界を変える」
28	日		「惑星ソラリス」上映会
29	月		休 館 日
30	火		月 末 休 館 日
10	1	水	林権澤監督特集 14:00 シバジ 19:00 キムソドム

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますので御承ください。

各団体の自主上映事業

9月28日(日)「惑星ソラリス」

主催：福岡映画サークル協議会 TEL：092-781-2817

ギャラリー展示「絵・地図にみる福岡藩」

会 期：9月23日(火)～10月26日(日)

会 場：福岡市総合図書館 1階ギャラリー

観覧料：無料

江戸時代の福岡藩を、絵・地図で概観する。とくに武士の町である福岡部と商人の町である博多部をクローズアップする。本展示会は、城下町福岡の建設、長崎警備、博多の祭礼、福岡藩の物産の4つのコーナーに分けて展示。

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介やスケジュール、映像ホール等で開催される各種イベントなどの情報を満載した「シネラNEWS」を毎月お届けします。(但し、要郵送料負担)

申込希望月より'98年3月までの郵送料(90円切手×6月分＝540円)の切手を同封して、下記の宛先までお申し込み下さい。

宛先：〒814 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館映像資料課まで

なお、毎月当ホールの上映スケジュールポスターを掲示していただける店舗等も募集いたしております。
詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで。

映像ホール利用申し込みについて

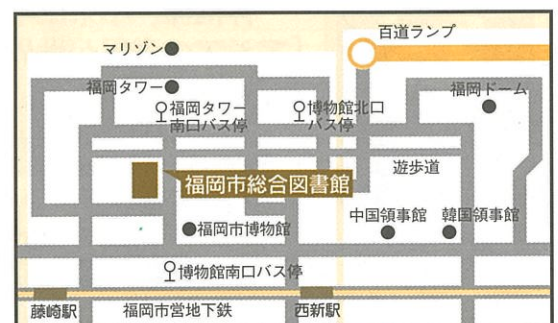
平成9年12月以降映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

期間：平成9年12月24日(水)～12月27日(土)

平成10年1月28日(水)～2月1日(日)

但し1月31日(土)は休館日(1月28日(水)～2月1日(日)の申込は9月2日11時より受け付けます。)

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課TEL(092)852-0600までお問い合わせください。



交通機関：地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分
西鉄バス博物館南口および
福岡タワー南口バス停留所より1分
都市高速百道ランプより車で2分



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

お問い合わせは

Tel：092-852-0600 Fax：092-852-0609